

「いつまでも、安心して暮らせるまちづくり」

～復活・復興・・・更なる発展のためのコミュニティづくり～

2011年3月11日、東日本大震災という未曾有の出来事に遭遇し、直接の被害が無かった愛媛に住む我々の暮らしにも大きな影響を与えました。

三陸には「津波でんでんこ」という伝承があり、普段より津波に対する自主防災の意識が高く、多大な犠牲者を伴った今回の津波でも命を救われた方々がございました。

我々は、「津波でんでんこ」の精神をどう活かしていくか、また地域における助け合いの尊さについて考えなければならぬのではないのでしょうか。

今回のフォーラムでは、地域のコミュニティづくりに取り組んでいる方々の話を聞き、地域のコミュニティづくりについて今一度考えてみたいと思います。

○日 時：平成24年1月28日(土) 12:30 受付開始 13:30 開演

○会 場：ひめぎんホール3階第6会議室(松山市道後町2丁目5-1)

○参加費：1,000円(フォーラム終了後、友輪荘にて交流会を開催。交流会費は4,000円)

〈プログラム〉

■基調講演

「ともに生きるまちづくり」

講 師：御荘病院院長・NPO法人ハートinハートなんぐん市場理事 長野 敏宏氏

■参加型企画

「みんなで手づくりの小物入れを東日本大震災の被災地へ届けよう!!」

進 行：新居浜市おもちゃ図書館「きしゃポップ」代表

松山 明子氏

■パネルディスカッション

「いつまでも安心して暮らせるまちづくり」

提案者：御荘病院院長・NPO法人ハートinハートなんぐん市場理事

長野 敏宏氏

託老所あんき代表

中矢 暁美氏

今治市社会福祉協議会関前支部支部長

島崎 義弘氏

コーディネーター：えひめ地域づくり研究会議 代表運営委員

近藤 誠氏

お問い合わせ・申込先 ※申込締切 平成24年1月20日(金)

えひめ地域づくり研究会議事務局 三好 <(財)えひめ地域政策研究センター内>

TEL: 089-926-2200 FAX: 089-926-2205 e-mail: k-miyoshi@ecpr.or.jp

主 催：えひめ地域づくり研究会議 共 催：(財)えひめ地域政策研究センター

後 援：自治体学会、愛媛新聞社、朝日新聞松山総局、読売新聞松山支局、毎日新聞松山支局、産経新聞松山支局、日本経済新聞社松山支局、共同通信社松山支局、時事通信社松山支局、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV(順不同)

【編集後記】

事務所内でちよつとしたFacebookブームが起きています。FacebookはSNS(Social network service)と呼ばれるもので、インターネット上で人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のサービスと定義されています。代表的なものにTwitterやmixiがあります。

Facebookの面白さは実名で登録しなくてはならない所にあります。そのおかげで卒業から10年以上会っていないかった高校の同級生と交流を持つことができました。その社会的機能に注目し、市のホームページをFacebookに移す自治体まで出てきました。うまく使えば地域メディアの一つとして、地域づくりに活かせるそうです。

今回の舞たうん111号は初の三ケタソロ目号です。第1号発刊からおおよそ四半世紀。次のソロ目222号はどんな内容になっているのでしょうか。今から楽しみです。

(研究員 大政 太)

内容についてのご意見やまちづくり活動のトピックなどありましたら、お気軽に『舞たうん』編集係までお寄せください。

〒79010065

松山市宮西一丁目五番十九号

愛媛県商工会連合会館三階

(財)えひめ地域政策研究センター

TEL 089(926)2200

FAX 089(926)2205

発行/平成二十四年一月一日

(財)えひめ地域政策研究センター

印刷/岡田印刷株式会社